

建設経済常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年2月7日(金)
午前9時58分～午前11時13分
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 千葉栄幸 副委員長 鈴木英信
委員 今野慎介 委員 笹森波
委員 板橋美保 委員 菅原和子
委員 山田龍太郎
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため 建設部長 村上 諭
出席をした 都市開発課長 渡邊 文彦
者の職氏名 都市開発課技術補佐兼 奈良 厚
市街地まちづくり係長
- 6 事務局職員 主 査 菅原 翔太
- 7 付議事件
(1) 名取駅東地区にぎわい再生計画について
① 計画の概要について
② 策定から現在までの進捗状況について

午前9時58分 開 会

○委員長（千葉栄幸） 出席委員は、定足数に達しておりますので、委員会条例第14条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから、建設経済常任委員会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、諸般の報告をいたします。

委員会条例第19条の規定により、建設部長及び担当課長等の出席を求めておりますので、報告いたします。

次に、本日の会議に係る一切の資料を、お手元に配付しておりますので御了承願います。

これをもって諸般の報告を終わります。

それでは、付議事件の1 名取駅東地区にぎわい再生計画についてを議題といたします。

初めに、本日の進め方について、説明いたします。

まず、執行部より本日の説明要請事項について、すべて御説明いただき、その後、委員各位より項目ごとに質疑をお受けする形で進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

休憩をして進めてまいります。暫時、休憩いたします。

午前9時59分 休 憩

*休憩中の要旨

○名取駅東地区にぎわい再生計画について

執行部より、各項目について説明をした。内容は以下のとおり。

（都市開発課）

（1）計画の概要について

○背景

名取駅東地区については、市街地再開発事業により、図書館公民館を含む複合ビルや、増田地区防災広場の整備など、一定の成果を上げた一方で、県道沿線の商店街は、近年空き家空き店舗などが増加し、商店街交通量が減少傾向にあるなど、都市の空洞化が進みつつあるため、これら

の課題を解決するため、計画を策定した。

○計画の策定について

令和3年度 アンケート調査

令和4年度 ワークショップ5回、学生懇談会1回

令和5年3月 名取駅東地区にぎわい再生計画策定委員会に諮り、
パブリックコメント手続の後、計画決定

(2) 策定から現在までの進捗状況について

○旧視聴覚センター解体（令和6年5月）以降の跡地活用として、
施設整備までの期間を、社会実験的に、にぎわいに資するもの
としてイベント開催。

○名取駅東西自由通路に観光PR動画並びになとりん号の時刻を
表示するサイネージ2基を設置。

○名取駅コミュニティプラザでは、人が集まる拠点となるように
施設の利用を見直し、学生や駅利用者が利用しやすい環境づくり
として、飲食可（軽食）とした。

○社会実験による跡地活用状況

- ・市内に拠点を置く飲食店を中心としたイベント「増田夜市～語り場酔い
市～」を開催。
- ・当日は、全日本プロレス所属・斉藤ブラザーズを招いてトークイベント
を実施し、約2,000人の方が来場。

○サイネージのお披露目式

- ・サイネージ2基の運用開始にあたって、名取駅東西自由通路でお披露目
式を開催。
- ・当日は、名取市観光大使の俳優である仙名彩世様に出席いただき、無事、
運用開始となった。

○にぎわい再生施設整備について

- ・名取まちづくり株式会社を中心に、旧視聴覚センター跡地における
にぎわい再生施設の整備内容を検討しているところである。

- ・なお、名取まちづくり株式会社では、七十七銀行に対して出店希望者をつなげてもらうよう働きかけを行っている。
- ・令和8年度中の開業を目指し、引き続き、名取まちづくり株式会社とともに検討を進める予定である。

<質疑応答>

問 ナイトエコノミーについて、名取駅東地区にぎわい再生計画では検討に至っていないということだが、現在執行部側で考えていることはないか。タクシーは夜の12時以降本市で1台しか走っておらず、何かしらのことを考えなくてはいけない時期だと思う。その辺の検討は。

答 この計画では地域のにぎわいを創出するための事業を定めているが、ナイトエコノミーの考えを取り入れた計画ではない。ただ、そういうニーズに対して何か手を打つ必要はあると思うので、都市開発課以外の部署とも連携しながら、課題の洗い出し等、今後に向けての整理は必要だと思う。

問 民間の知見が足りないと感じるが、どうか。

答 当然、官民連携することは大事だと思うが、なかなか実現することが難しい。この計画については、名取まちづくり株式会社が事業を展開していくことを想定しているが、なかなか円滑に進んでいない部分もある。当初の計画より進んでいない事業については、民間の考えも取り入れ柔軟に進めたい。

問 名取まちづくり株式会社が実施主体とのことであるが、それ以外の会社は入ってこないのか。

答 名取まちづくり株式会社が必要に応じてほかの民間の会社と連携することはあると思うが、市から直接ほかの民間の会社と連携することは現段階ではない。

問 イベントの来客数が1回目より2回目で大きく減ったが、イベントを開催したことで見えた課題は。

答 1回目はプロレスラーを呼んだため、会場である防災広場に相当の人が集まった。収容人数に限界があるため、今後大きなイベントを開催する場合は、防災広場だけではなく新たな広い場所での開催を検討するという、イベントの担当課であるなとりの魅力創生課と共通認識を持った。

問 今後は、500人から1,000人までの規模のイベントを開催するのか。

答 1日のうち、どの時間に人が集中するのかイベントの内容によって変わるので、なかなか判断が難しい。ただ、増田神社と防災広場、その間の道路を封鎖して一体的にイベントを開催したこともあり、当然収容人数は大きくなった。

問 空き家店舗の活用で3件の採択があったとのことだが、具体的にどのようなお店か。

答 ネイルサロンが1件、税理士事務所が1件、ドローン教室が1件の合計3件である。

問 歩道を整備するとの話があったが、商店街には駐車場が少ないと感じる。駐車場を整備する検討はあったか。

答 市営の駐車場があれば便利だと思うが、現状は民間の駐車場を活用している。イベントがあるときは民間の駐車場だけでは足りないため、市役所の駐車場を活用している。場所と費用を考えると駐車場を整備することは難しい。

問 新しい店舗ができて有料駐車場に止めて店まで歩いていくイメージがある。せっかくお店が新しくできて、わざわざ有料駐車場から歩くのは大変だと思うが、どうか。

答 駐車場については中心市街地活性化基本計画の段階から様々な問題視されていた。未利用の土地もあるが所有者の利用の考え方があり、駐車場として貸すこともなかなか難しい。今回歩きやすい歩行空間づくりは大きな意味があり、図書館に来た人がその空間を歩いて商店街に回遊して、にぎわいをつくりたいと考えている。

問 夜市などのイベントを開催する場合に、騒音などの問題により苦情が寄せられることもある。実行委員会や店舗側に対する理解形成のための説明は。

答 前回のイベント開催の際の苦情は周知が足りなかったことによる。音が建物に反響してうるさいとの苦情が寄せられたが、音響側を道路に向けるべきとの提案があった。今後は丁寧な説明や近隣住民に対する周知を行う。

問 イベントを開催した際に事故が起きないように、安全性を高めるためにガイドライン等を作成し、各店舗に指導すべきと思うがどうか。

答 今後、見直しながら指導していきたい。様々な危険な事故に対する保険に

加入しているかなど確認していきたい。

問 防災公園を利用して1,500人の集客があったことは素晴らしいと思う。しかし、イベントは単発である。これまでも商店街で道路側に駐車場を設けていこうという話もあったが、商店街でまとまらないし、整備するための力もない。思い切って区画整理をしてデベロッパーや不動産に投げかけるのも一つの手だと思う。商店街だけではなく地域住民、行政が連携して進めていくべきだと思うがどうか。

答 昔から商店街で様々な意見が出されては消えを繰り返していることは重々承知している。名取駅東地区にぎわい再生計画では名取まちづくり株式会社を通して、官民連携に取り組みたい。

問 にぎわいづくりのため継続的にイベントを開催することが必要だと思うが、現段階で計画していることはあるか。

答 市主体ではイベントを行っておらず、なとりの魅力創生課で補助金を出して令和6年度に年間3件実施した。イベントを通した社会実験を名取市商工会でも継続的に実施しており、様々な支援を行っている。今後も支援を継続したい。

問 増田の商店街の中にも空き家があるが、空き家を活用したイベントを開催する考えは。

答 イベントの開催は、旧視聴覚センター跡地、防災広場、名取駅東口駐車場を想定している。空き家となるとチャレンジショップの補助金を使って事業をすることはあると思うが、イベントの活用は考えていなかった。

問 例えば岩沼市だと、道路に連なっている商店街が、店舗の前を利用して夜市としてにぎわいづくりをしている。普段は店舗を持たず、その時に空き家を借りてお店を出す人もいるようだが、本市でそのような取組をすることはできないか。

答 いい活用の仕方だと思うが、現在取り組む予定はない。

問 仙台高等専門学校生徒と議会懇談会を実施した際に、名取駅の西口にも店舗がほしいとの意見があった。また、西口でもイベントを開催することで、人の流れを作ることも大切だと思うが、どうか。

答 名取駅西口について、現在構想はない。サッポロビール株式会社が撤退し

て、今後の土地活用の意見交換会を実施しているが、今後も話し合いを進めたい。

問 ワークショップにおいてラジオ局を防災広場または名取駅東口に設置した方がよいとの意見があったと思うが、移転について考えていることはあるか。

答 防災広場付近への移転の打診はしている。

問 まちづくりにおいては都市開発課だけではなく、各部署との連携が必要不可欠と考えるが、定期的に打合せを行うなど、連携の在り方は。

答 定期的な打合せは実施していないが、イベントに関係のあるなど魅力創生課、空き店舗について所管している商工観光課と予算化する前に打合せを行い、事業を実施している。

午前11時13分 再開

○委員長（千葉栄幸） 再開いたします。

以上で本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

大変お疲れ様でした。

午前11時13分 散会

令和7年2月7日

建設経済常任委員会

委員長 千葉 栄幸